

# 平成22年度 事業計画

## I 組織・運営体制の確立

### 1 老人クラブ指導者の育成

地域を基礎とする高齢者の自主的組織である老人クラブにおいて、会員本位の自主的かつ民主的な運営が行われ、魅力あるクラブ活動となるよう、老人クラブ指導者の育成研修を行う。

#### (1) 指導者研修

##### [県内]

① 市町村老連正副会長会議（高齢者相互支援推進・啓発事業）

県下市町村老連の正副会長が一堂に会し、今日にふさわしい適切な活動と運営をいかに行うか等当面の課題につき研修、討議し、情報交換を行う。

・期 日 : 平成23年1月（1泊2日）

・場 所 : 岡山市北区菅野「レスパール藤ヶ鳴」

② 老人クラブリーダー研修会（高齢者相互支援推進啓発事業、健康づくり支援事業）  
原則、単位クラブの正副会長等のリーダーを対象とし研修会を開催する。

・テ ー マ : 魅力あるクラブ運営・クラブ活動への取り組みとリーダーの役割  
など

・会 場 : 4会場（岡山、倉敷、津山、高梁、）630人

③ 女性リーダー研修会（同 上）

・テ ー マ : 会員の7割を占める女性会員が「心と体の健康づくり」について、どのように女性ならではの活動を行えば、老人クラブ活動全般に亘り相乗効果をもたらすかなどにつき討議研修を行う。

・会 場 : 3会場（岡山、倉敷、津山）

・受講対象 : 市町村老連における女性リーダー200人

##### [中国・四国]

① 中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会

（7月8日（木）～9日（金） 倉敷市）

・参加人員 : 約280人

・内 容 : 基調報告 分科会（4分科会） 活動事例発表

## **[全 国]**

- ① 第28回 都道府県・指定都市老連中央セミナー  
(6月1日～2日 東京・全社協灘尾ホール) 参加者 1名程度
- ② 第8期健康づくり中央セミナー(11月24日～26日 神奈川県・葉山市)  
・健康づくり指導推進員の養成 派遣人員 2名

## **2 男女共同参画のクラブづくり**

老人クラブ活動の活性化を図るためには「男女共同参画のクラブづくり」の実現が欠かせないところである。

特に会員の過半数を占め、クラブ活性化の鍵を握る女性会員の積極的活動が期待される所であり、男女共同参画の組織づくり、学習機会の拡大など活動の場づくりを推進する。

### **(1) 男女が共同参画する組織・活動づくりの推進**

- ・高年・若手・女性のバランスのとれた役員構成の推進(老人クラブ「21世紀プラン」目標13)
- ・若手高齢者、女性会員の活力が発揮できる場づくり

### **(2) 女性会員によるクラブ活性化**

- ・女性委員会を中心とした女性組織の活性化への取り組み
- ・女性委員会の自主的運営による女性リーダー研修会の充実  
会 場 : 岡山、倉敷、津山  
開催時期 : 12月
- ・市町村老連、単位クラブでの女性役員の登用促進

### **(3) 県老連女性委員会**

- ・総 会 年2回
- ・幹事会 年1回

### **(4) 第22回全老連女性リーダーセミナー**

(10月26日～27日東京・全社協会議室)

- ・全老連女性委員会総会(東京都で年2回併催) 参加者女性委員長他1名

(参 考)

全老連 女性委員会の推進項目

- ・女性委員会の設置(女性の組織化)

- ・老連役員への参画を推進する
- ・大会や研修会等の会合に、女性の参加を拡大する
- ・「仲間づくりの輪」を広げ会員の拡大に取り組む
- ・生活モニター活動を通じて提言・提案活動を推進する

### 3 老人クラブ会員の加入促進と魅力あるクラブづくり

本県の老人クラブ会員数は、近年急激な減少傾向にある。このため平成19年度から県老連、市町村老連等において「会員加入促進委員会」を立ち上げるなど推進体制を確立し、単位クラブ、会員を中心として会員加入促進のための全県的な運動を展開している。

4年目となる今年度は、市町村老連はもとより地区・支部老連においても「会員加入促進委員会」を立ち上げ、あらゆる機会をとらえてPR活動を行うなどこの運動の一層の進展を図る。

また会員加入促進とあわせて老人クラブ活動の充実・強化に努め、魅力あるクラブづくりなど“楽しい活動で仲間を増やす”運動へと発展させる。

#### (1) 県老連「会員加入促進委員会」の開催

委員 12名 年2回開催予定

- ・運動の成果分析及び運動方針の検討
- ・平成22年度スローガン  
“楽しい活動で仲間を増やそう” 運動への取組み
- ・優良単位クラブの表彰
- ・優良事例の紹介（研修会等で事例紹介）

#### (2) 市町村老連等における会員加入促進体制の確立

- ・「会員加入促進委員会」未設置の市町村老連（地域・地区）での委員会立ち上げ促進
- ・地域性に応じた会員加入運動の展開
- (例) 市町村老連の「会員加入促進委員会」での検討事項
  - ・実施期間、目標の設定  
未加入会員の掘り起こし、団塊世代の取り込み  
(グラウンドゴルフ、ウォーキングなどクラブ行事への参加呼びかけ)
  - ・休眠クラブ、解散クラブの対策など
  - ・魅力あるクラブ活動への取組み

### (3) 魅力あるクラブ活動の取り組み

新しい会員を増やすためには、会員加入の働きかけと同時に、今の会員が満足できるクラブづくり、魅力あるクラブづくりが必要である。

地域特性とクラブの実態に応じた、男女が共同参画できる会員にやさしいクラブづくり、開かれたクラブへの取り組みが求められる。

- ・女性、若手リーダーの養成と組織化、役員登用
- ・会員にやさしいクラブ、開かれたクラブへの取り組み検討
- ・老人クラブの愛称検討など

(参 考) 全老連 老人クラブ加入促進マニュアル「仲間さがし9つの秘訣」より

#### ◎ 加入したくなるクラブのあり方

##### 1) 組織活性化の課題

- ・クラブの若返り
- ・名前だけの会員の参加促進
- ・マンネリ打破（新しい活動の開拓）
- ・町内会など他団体との連携、交流 など

##### 2) 会員にやさしいクラブ

- ・出席できない会員への配慮
- ・会員の希望の把握、実行
- ・新入会員をあたたく迎える など

##### 3) 開かれたクラブ

町内会など地域のいろいろな組織・団体との連携を図り、必要に応じクラブ活動に参加・協力を求めるなど

### (4) 広報と表彰

#### 1) 広報活動

- ・「老連だより」掲載のほか、リーダー研修、老人福祉大学、老人クラブ大会などあらゆる機会を利用した PR 活動
- ・優良事例の紹介

(市町村老連正副会長会議等での事例紹介)

#### 2) 表 彰

- ・全老連表彰 「活動賞」仲間づくり、健康づくり、ボランティアの各部門
- ・県老連表彰 優良単位クラブの表彰 (シルバー基金などを活用)

## II 会員の生活を豊かにする活動

### 1 第35次岡山県老人福祉大学

- ・会場 : 岡山、倉敷、津山、高梁
- ・期間 : 6月～11月
- ・受講生 : 約900名(会員と一般高齢者)
- ・テーマ : 【一般講座】(予定)
  - ・時事問題
  - ・健康づくり講座
  - ・岡山の歴史と文化
  - ・送る人、送られる人
  - ・落語

### 2 地域高齢者の健康づくり・介護予防活動の推進

高齢者の願いである健康づくりや介護予防を進めるため、仲間と共に「学習」「実践」「点検」活動に継続的に取り組み、心と体の健康を保ち、健康で生きがいのある生活の実現を目指す。

また平成22年度においては、これまでの成果を踏まえながら、活動の輪を地域の高齢者へ広げ、地域の高齢者が健康でいきいきと自立した生活をおくり、安心して暮らせるまちづくりを目指すこととする。

#### (1) 県老連健康づくり推進委員会の開催(健康づくり支援事業)

老連の行う健康づくり活動の支援・啓発について専門家を交え研究・協議し方向性を示す。

- ・健康づくり推進委員会 委員17名 年2回開催

#### (2) 「高齢者の体力測定」啓発・普及事業の実施(健康づくり支援事業)

健康づくりの学習、実践に加え点検活動の一環として、高齢者の体力測定を行い「自分の体力を知り、自分に適した運動の習慣を身につける」ための指針とする。

- (県老連) ・体力測定事業報告会の開催
- (市町村老連) ・実施主体 モデル市町村(地域、地区)老連
- ・実施ヶ所 《継続》3老連(平成21～22年度)
- ・測定内容 握力、上体起こし、開眼片足立ち、10メートル障害物歩行、6分間歩行、長座体前屈
- ・補助内容 @5万円以内/年 2カ年  
測定用具一式貸与

### (3) 老人福祉大学での健康講座 (再掲)

- ・開催場所 4会場 (岡山、倉敷、高梁、津山) 受講生 約900人

### (4) 健康ウォーキング推進事業 (健康づくり支援事業)

「健康ウォーキング」の日常的な実施を通じて、運動による健康づくりを推進する。

特に今年度からは、老人クラブ未加入者も対象とし、地域へ健康づくりの輪を広げるなど、老人クラブに対する理解と加入促進を図る。

(県老連)

- ・健康ウォーキング講習会 1回開催
- ・用具、教材の提供及び助成
- ・事業報告会 1回開催

(市町村老連)

- ・実施老連 (市町村老連、地区・地域老連、校区老連、単位クラブなど)  
5地区 1地区 50名
- ・週1回 (月2～3回) 程度のウォーキング実施  
(歴史散策ウォーキング、三世代ウォーキング、子供見守りウォーキング他)
- ・健康ウォーキング学習会の開催

### (5) 健康づくり・介護予防まちづくり事業 (健康づくり支援事業)

県老連としてもこれまで健康づくり支援事業については、重点的に取り組んできたところであるが、平成22年度においては、これまでの成果を踏まえ、単位クラブでの健康づくり・介護予防活動を一層進めるとともに、地域の高齢者、地域住民へも活動の輪を広げ、地域の高齢者が健康で自立した生活を送り、安心して暮らせるまちづくりを目指し、健康づくり・介護予防まちづくり事業を実施する。

なお、今年度からは、健康づくりの学習、実践に加え点検活動の一環として、高齢者の体力測定を行い「自分の体力を知り、自分に適した運動の習慣を身につける」ための指針とする。

#### ① 県老連

- ・健康づくり・介護予防リーダー養成講習会  
養成 50人 (モデル事業実施老連、その他老連)  
講座 健康づくり・介護予防に必要な専門的な知識、技術 (体力測定も含む) 等の研修  
認定 講座修了者へ県老連会長から「修了証」交付

- ・全老連 健康づくり中央セミナーへの派遣 1～2名
- ・助成 1老連 5万円（継続5老連 新規5老連）

## ② 市町村老連

健康づくり・介護予防まちづくり事業

- ・モデル老連を指定して行うが、活動の中心は単位クラブであり、老連は単位クラブでの活動が円滑に行われるための研修、リーダー養成、体力測定など各種イベント開催の指導。
- ・実施主体 モデル市町村（地域、地区）老連
  - ・実施ヶ所 《継続》5老連 （平成21～22年度）
  - 《新規》5老連 （平成22単年度）

## ③ 単位クラブ

- ・健康づくり・介護予防に関する「学習」「実践」「点検」活動を、市町村老連と連携しながら、年間を通じて継続的に実施。
- ・活動にあたっては、クラブ会員のほか地域の高齢者、住民の積極的な参加を呼びかける。

（活動例）

学 習

- ・高齢者の健康管理、高齢者に多い病気とその予防（歯、認知症、薬）

実 践

- ・栄養（高齢者の食生活、料理教室）
- ・運動（グランドゴルフ、ラジオ体操、いきいきクラブ体操、ウォーキング）

点 検

- ・健康診断
- ・体力測定

※ 体力測定用具一式 貸出

その他

- ・単位クラブにおける活動を推進するリーダー（サポーター）の養成

## （6）行政等関係機関・団体との連携

健康づくり・介護予防活動を進めるうえで、市町村行政、地域包括支援センターや社協、医師会、自治会連合会など関係機関団体との連携は重要である。

これら関係機関等とは日ごろから連携をとり、活動への積極的な支援を得ながらすすめる。

### 3 高齢者の安全・安心を支える活動

高齢者の暮らし安全、安心を守るため交通安全活動、悪徳商法対策等防犯安全対策を推進する。

#### (1) 高齢者の交通安全対策

県下の交通事故発生件数、死者共に減少するなかで、高齢者が関係する交通事故、事故死は増加傾向にある。高齢者が交通事故にあわないようにするため、交通安全講習会等機会あるごとに安全意識の徹底をはかる。

① 平成22年春の交通安全県民運動（4月6日～15日 10日間）

- ・交通事故死ゼロを目指す日 4月10日（土）
- ・最重要目標（運動の基本）「子どもと高齢者の交通事故防止」

②平成22年度 高齢者交通安全県民運動

- ・スローガン「知らせよう ここにいるよと反射材」

（重点目標）

- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・自転車の安全利用の推進
- ・飲酒運転の根絶
- ・交差点における正しい通行の徹底

#### (2) 悪徳商法等防犯安全対策

- ・悪徳商法など高齢者の消費者トラブル防止のためのPR活動

## III 地域を豊かにする社会活動

### 1 地域を豊かにする社会活動の推進

#### (1) 次世代育成支援活動の推進

① 子育て支援活動モデル事業の実施（健康づくり支援事業）

- ・実施個所 6市町村（地域、地区）老連
- ・補助対象事業例 見守り活動、安全パトロール、世代間交流、子育て相談など
- ・補助額 @5万円以内・単年補助

② 事業報告会 年1回（報告書作成）

#### (2) 在宅福祉を支える友愛活動

- ・在宅福祉を支える友愛活動セミナー派遣 参加者1名（東京都）



- ・「寝たきりゼロ作戦10ヶ条」実施の奨励（県老連提唱）
- ・目くばり・気くばりネットワークの推進（ 〃 ）
- ・虚弱、ひとり暮らし、認知症の仲間を支える友愛活動
- ・地域福祉活動事業の推進
  - 友愛介護訪問、給食サービス、孤独死・高齢者虐待の防止、地域高齢者の声かけ運動など

### （3）全国一斉「社会奉仕の日」～きれいな地球を子どもたちへ～の推進

- ・ 全老連の活動にあわせ、環境にやさしい活動を柱とした9月20日全国一斉「社会奉仕の日」の取り組みと通年活動の推進。
- ・ 花のあるまち ゴミのないまち運動、花いっぱい運動など

## IV 各種大会への参加

- ① 第47回 岡山県老人クラブ大会
  - ・ 10月21日（木） 岡山市民会館
  - ・ 参加者1,400名
    - 第1部 式典
    - 第2部 講演
- ② 第39回 全国老人クラブ大会
  - 11月16日（火）～17日（水） 宮城県仙台市
- ③ 平成22年度 岡山県総合社会福祉大会
  - 10月 7日（木） 岡山市民会館
- ④ 第23回 全国健康福祉祭「第20回 地域文化伝承館」
  - 10月 9日（土）～12日（火） 石川県
- ⑤ 「中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」（当番県）
  - ・ 7月8日（木）～9日（金） 岡山県倉敷市下津井 1泊2日
  - ・ 参加人員 県内及び中四国各県・政令市 約280名
  - ・ 内 容 基調報告 分科会 活動事例発表 全体会議

## V 法人運営

公益法人としての適正な運営管理を行う。また、公益法人制度の改正に伴い、新公益法人へ移行のための準備検討を行う

### 1 諸会議

#### （1）県老連諸会議

- ・ 正副会長会議
- ・ 理事会
- ・ 評議員会
- ・ 監査（含シルバー基金監査）
- ・ 老人クラブ研究委員会(会員加入促進委員会)等各種県老連委員会
- ・ 市町村老連事務局長(担当者)会議

## (2) 中国ブロック県老連連絡協議会

4月27日（火）～28日（水）広島市

## (3) 全老連関係諸会議

- ・ 全老連理事会、評議員会
- ・ 都道府県指定都市老連会長会議
- ・                   〃                   事務局長会議

## 2 シルバー基金の運営管理

### (1) シルバー基金運営委員会の開催

- ・ 基金の有効活用についての研究
- ・ 基金の適正管理

### (2) シルバー基金果実の活用

- ・ 会員加入促進優良単位クラブの表彰
- ・ 「高齢者の体力測定」啓発普及事業      継続3地区

## 3 広報活動

- ① 機関紙「おかやま県老連だより」の発行   年2回   50,000部／回
- ② 県老連ホームページの充実等情報公開

## 4 表彰

### (1) 県老人クラブ大会

- ・ 10月21日（木）   岡山市民会館
- ・ 岡山県知事、保健福祉部長表彰
- ・ 県老連会長表彰（老人クラブ運営功労者、運営協力者、優良老人クラブ）
- ・ 山陽新聞社会事業団理事長感謝状

## (2) 全国老人クラブ大会

- ・ 11月16日(火)～17日(水) 宮城県仙台市
- ・ 老人クラブ育成功労表彰(全老連会長)
- ・ 優良老人クラブ表彰 ( 〃 )

## (3) その他

(県老連)・会員加入促進モデル単位クラブ表彰

(全老連)・活動賞

- ・ 「仲間づくり活動部門」 加入促進の優良取り組み(老連、単位クラブ)
- ・ 「健康づくり活動部門」 会員、地域の高齢者への健康づくり・介護予防活動の優良取り組み(老連、単位クラブ)
- ・ 「ボランティア活動部門」 地域社会におけるボランティア活動の優良取り組み(老連、単位クラブ)

\* 推薦枠 各部門ごと1県あたり3団体

## 5 市町村老連及び他団体との連携(高齢者相互支援推進・啓発事業)

市町村老連活動の活性化支援のため全県的交流、情報交換等を行う

### (1) 市町村老連との連携

- ・ 市町村老連正副会長会議
- ・ 市町村老連事務担当者会議

### (2) 関係諸団体との連携

- ・ 地域包括支援センター
- ・ 岡山県社会福祉協議会
- ・ 岡山県民生委員・児童委員協議会
- ・ 岡山県愛育委員会
- ・ 岡山県栄養改善協議会
- ・ 岡山県共同募金会
- ・ 岡山県生涯学習センター
- ・ 岡山県交通安全対策協議会
- ・ 岡山県消費生活センター

## 6 新公益法人への移行準備

公益法人については、国において全面的な法制度の改正が行われ、関係法令が平成20年12月1日から施行された。県老連については、特例民法法人として、財団法人の名称、寄付行為等これまでどおり使用することができる。

しかし、この特例民法法人は、今後、平成25年11月30日までの5年間に、「公益財団法人」又は「一般財団法人」への移行を完了する必要がある。

今年度は、平成21年度末に立ち上げた「新公益法人移行検討委員会」において、移行に向けての課題等について検討すすめる。

新公益法人移行検討委員会 年4回開催

- 委員会構成 委員5名 (オブザーバー2～3名)

検討課題

- ・ 移行スケジュール
  - ・ 定款の変更
  - ・ 新会計基準に適合する会計の諸整備
  - ・ 情報公開等事業の透明性の確保
  - ・ 事務事業の見直しと自主財源の確保等財務基盤の強化
- 新・新会計基準ソフト導入

## 7 情報公開への取組み

業務運営の透明化、適正化のため、積極的な情報公開への対応を図る。

- ・ 県老連ホームページの充実